

お客様各位

2019年 2月 20日
東京計器株式会社
船用機器システムカンパニー

ディファレンシャル GPS 廃止に伴う弊社機器への影響

～対象: 日本近海を航行する船舶～

平素は弊社製品をお使いいただき誠にありがとうございます。

海上保安庁が運用されている、国内でのディファレンシャル GPS (DGPS) サービスが、平成 31 年 3 月 1 日をもって廃止されます。(※1) それに伴う、弊社製品への影響についてお知らせいたします。

対象製品: ①RADAR (型式:BR-3210/2560)
②ECDIS (型式:EC-7*00 シリーズ、EC-8*00 シリーズ、ECS シリーズ)
③HAPS (HAPS-500,HAPS-600)

影響: DGPS の受信を有効に設定してある機器では、DGPS の受信が停止したことを示すアラーム表示と警報が発生します。警報音は、ACK を押すことで、止められますが、アラーム表示が画面に残ります。

説明: 上記機器は、警報が発生しますが、機器の不具合ではありません。DGPS の受信が停止したことを示す警報で DGPS の受信エリアを外れた場合にも同アラームが発生します。
なお、DGPS は米国が運用している GPS の測位精度を向上させるために位置の補正情報を船舶に送信しているもので、アメリカ、カナダ、オーストラリアほか世界各国にも同様の局が存在しています(※2)。
USCG の WEB サイトによれば、GPS の測位精度が大幅に向上しており、補正情報が必要なくなっていることから停止しても影響がないと判断しており、今後、アメリカでも段階的に廃止される見込みです。(※3)

対応: 対象製品① : アラーム表示と警報の発生を回避するには、弊社サービスマンの訪船による初期設定の変更が必要です。
国内のみで運航されている内航船などで、画面表示にアラームを残したくない場合には、下記連絡先にご相談ください。

対象製品②、③ : お客様にてアラートを非発生に変更することが可能です。
各製品の取扱説明書の“警報”の章を参照してください。

関連情報

- (※1) [ディファレンシャル GPS の廃止について\(海上保安庁\)](#)
- (※1) [全国船舶無線協会関連ページ](#)
- (※2) [各国の DGPS 局リスト\(A-H\) 国際航路標識協会 \(IALA より\):](#)
- (※2) [各国の DGPS 局リスト\(I-P\) 国際航路標識協会 \(IALA より\):](#)
- (※2) [各国の DGPS 局リスト\(R-Z\) 国際航路標識協会 \(IALA より\):](#)
- (※3) [USCG 関連ページ](#)
- (※3) [DGPS の廃止 \(USCG\)](#)

ご不明な点がございましたら下記に示します弊社船用営業担当またはサービス部にお問合せ下さい。

弊社連絡先

TEL: 03-3737-8611 FAX:03-3737-8663

<https://www.tokyokeiki.jp/products/marine/office.html>

Web メールでの連絡先

https://www.tokyokeiki.jp/form/webform_marine.html